

第19回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成19年2月

応募者名：青森県 弘前市

事業の名称：弘前駅周辺整備事業

（交通結節点環境改善）

実施都市名：青森県 弘前市

事業の目的

弘前市は、青森県の西南部、津軽平野の南部に位置し、津軽十萬石の城下町として、津軽一帯の政治・経済・文化の拠点として発展してきた。JR奥羽本線弘前駅の西側地区は、戦後急激に宅地化が進み、無秩序に市街地が形成されてきたが、土地区画整理事業により新たな駅前広場や、広幅員の幹線道路、融雪装置付き歩道、公園などが計画的に整備され、市の新しい表玄関として生まれ変わっている。

一方、弘前駅東側地区は、昭和40年代からの土地区画整理事業などにより宅地開発が進み、人口が急増した地域であるが、東側に改札口がなく、バス・タクシーの乗降場、駐輪場、駐車場等の公共施設の整備が立ち遅れている状況にあった。このため、JR奥羽本線で分断されている東西市街地の連絡性・一体性の強化、歩行者の安全性・利便性の向上と、東側地区の都市機能の強化・充実を図り、弘前駅を核とした広域的な交通拠点の拡充を図ったものである。

事業概要(1)

事業名:弘前駅周辺整備事業(交通結節点環境改善)

事業箇所:青森県弘前市表町

事業延長、幅員、面積:

- ・弘前駅自由通路 $L=80\text{m}$ 、 $W=10\text{m}$
- ・JR東日本弘前駅(橋上駅舎) $A=1,600\text{m}^2$
- ・弘南鉄道弘前駅 $A=170\text{m}^2$
- ・都市計画道路3・4・31号城東中央福村線
 $L=80\text{m}$ 、 $W=16\text{m}$
- ・弘前駅城東口広場 $A=6,800\text{m}^2$
- ・弘前駅城東口駐輪場 $A=2,400\text{m}^2$
- ・弘前駅城東口駐車場 $A=4,300\text{m}^2$
- ・弘前駅中央口駐車場 $A=2,200\text{m}^2$

総事業費:約72億円

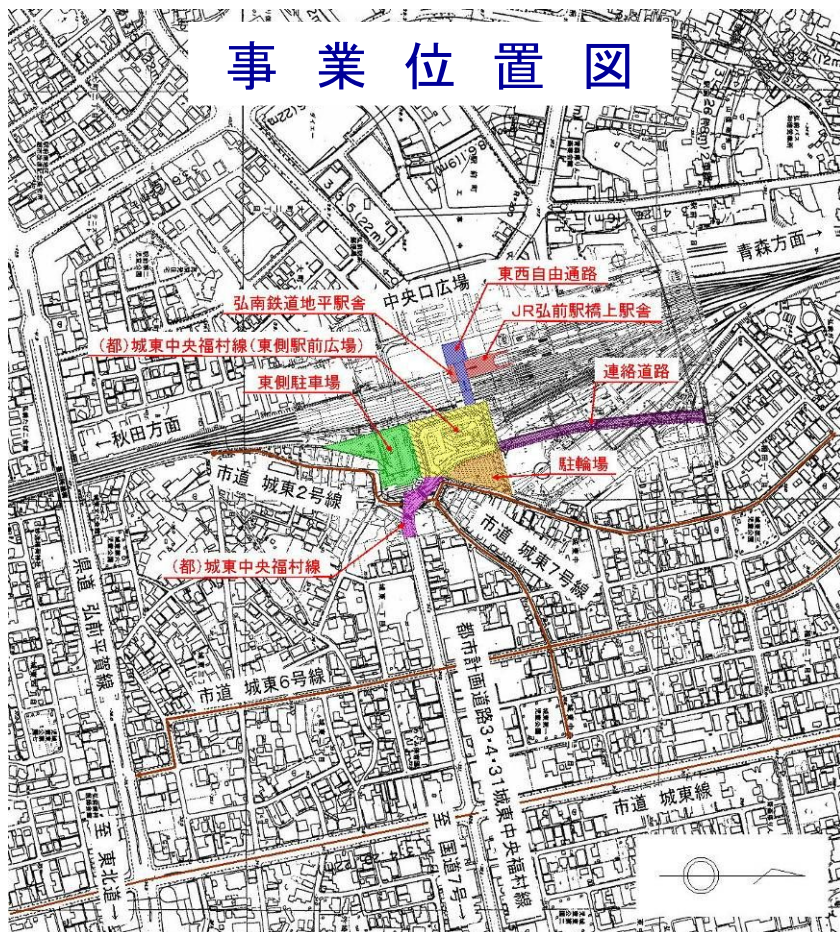
事業期間:平成10～17年度

事業概要(2)

本事業の弘前駅自由通路、JR東日本弘前駅、弘南鉄道弘前駅については、鉄道事業者と工程等の協議・調整を綿密に行い、効率的かつ一体的に整備を進めた。また、自由通路外観は、城下町の玄関として「和モダン」をキーワードに、横格子の外壁デザイン、モトーン仕上げ等で「おごろさ(重厚さ)」を創出し、さらには、地元工芸素材を組合せた美術工芸板を通路内の壁面に設置し、弘前らしさを醸し出すよう配慮している。

弘前駅城東口広場・駐輪場・駐車場などの整備計画や運用方法などについては、弘前駅周辺整備検討会議並びにホームページや広報誌で、広く意見を聴取するなど官民協働で進めたものである。また、積雪寒冷地ということから、城東口駅前広場歩道部に融雪施設を設置し、冬期間のバリアフリー化を図っている。

事業位置図



平面図



立面図



弘前駅周辺整備事業の整備効果アピール資料

○事業概要

事業名：弘前駅周辺整備事業
(交通結節点環境改善)

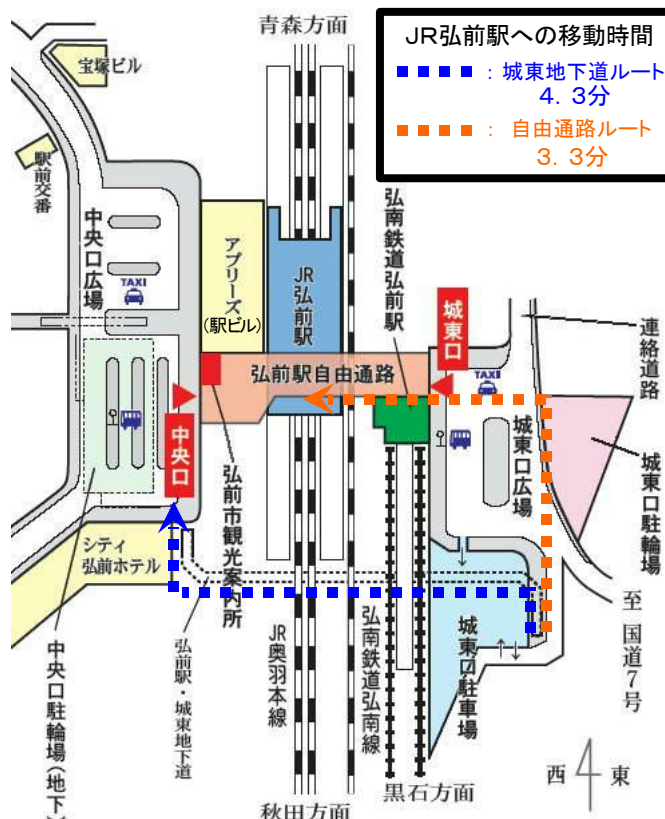
事業箇所：青森県弘前市表町

事業延長、幅員、面積：

- ・弘前駅自由通路 L=80m、W=10m
- ・JR東日本弘前駅 A=1,600m²
- ・弘南鉄道弘前駅 A=170m²
- ・都市計画道路3・4・31号城東中央福村線
L=80m、W=16m
- ・弘前駅城東口広場 A=6,800m²
- ・弘前駅城東口駐輪場 A=2,400m²
- ・弘前駅城東口駐車場 A=4,300m²
- ・弘前駅中央口駐車場 A=2,200m²

総事業費：約72億円

事業期間：H10～17年度



JR弘前駅への移動時間

■■■■：城東地下道ルート
4.3分

■■■■：自由通路ルート
3.3分

○歩行者通行量調査結果

供用前 平成 8年8月28日(平日)

供用後 平成17年9月16日(平日)

平成17年9月18日(休日)

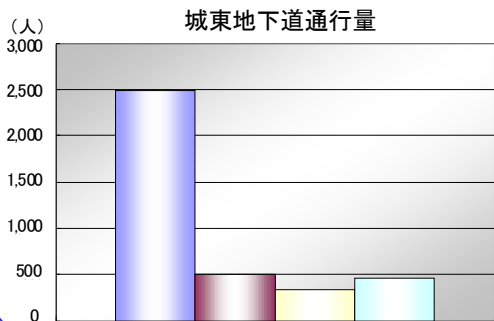
平成18年4月29日(大型連休)

<城東地下道通行量>

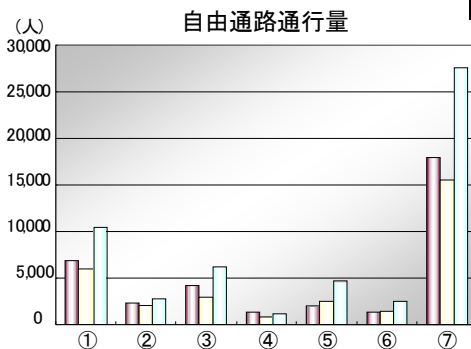
	歩行者(人)			
調査年月日	H8.8.28	H17.9.16	H17.9.18	H18.4.29
通行量	2,496	495	342	468

<自由通路通行量>

調査箇所	調査年月			歩行者(人)
	H17.9.16	H17.9.18	H18.4.29	
①中央口出入口	6,883	5,957	10,434	
②城東口出入口	2,306	2,049	2,805	
③JR改札口	4,188	2,903	6,188	
④私鉄改札口	1,374	723	1,167	
⑤駅ビル1F出入口	1,894	2,520	4,454	
⑥駅ビル2F出入口	1,328	1,393	2,524	
合計数	17,973	15,545	27,572	



城東地下道通行量



自由通路通行量

■■■■	: H8. 8. 28
■■■■	: H17. 9. 16
■■■■	: H17. 9. 18
■■■■	: H18. 4. 29

① 中央口出入口	⑤ 駅ビル1F出入口
② 城東口出入口	⑥ 駅ビル2F出入口
③ JR改札口	⑦ 合計数
④ 私鉄改札口	

「整備効果」

○東西の連絡性・利便性が飛躍的向上

東西の移動時間⇒約1分短縮

○大幅な利用者増加、賑わい創出

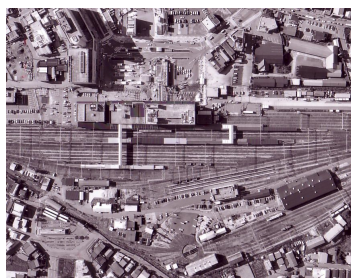
城東地下道利用者の8割以上が利用
2,496人⇒342～495人

○私鉄駅乗降客数が4%増加

○バス利用者が6%増加

○隣接する駅ビルの売上が70%増加

○駅周辺での犯罪行為や違法駐車減少
安全性が強化



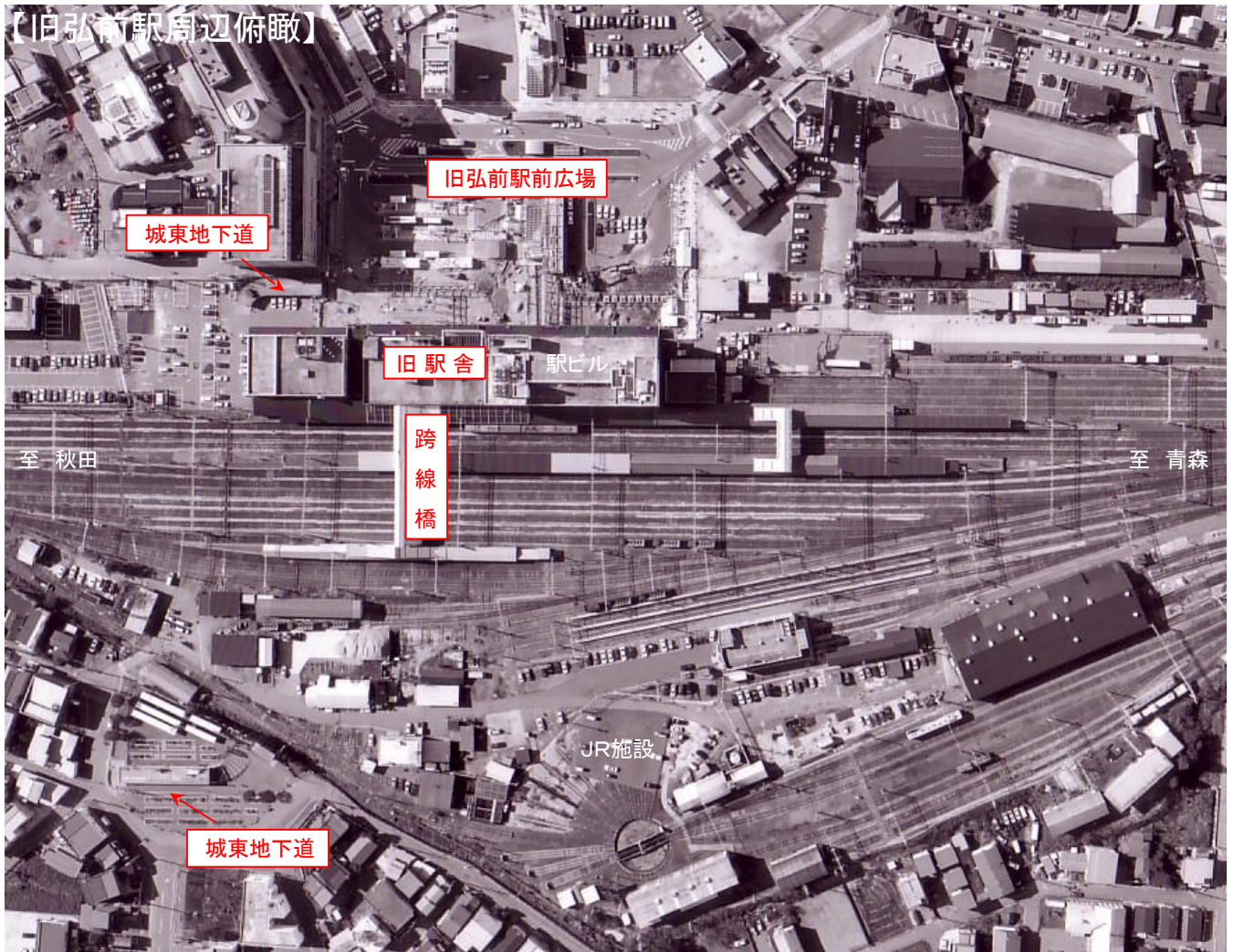
事業前：H10.3



事業後：H18.3

平成10年3月撮影

【旧弘前駅周辺俯瞰】



平成10年3月撮影

【旧弘前駅前広場】



【旧弘前駅跨線橋】



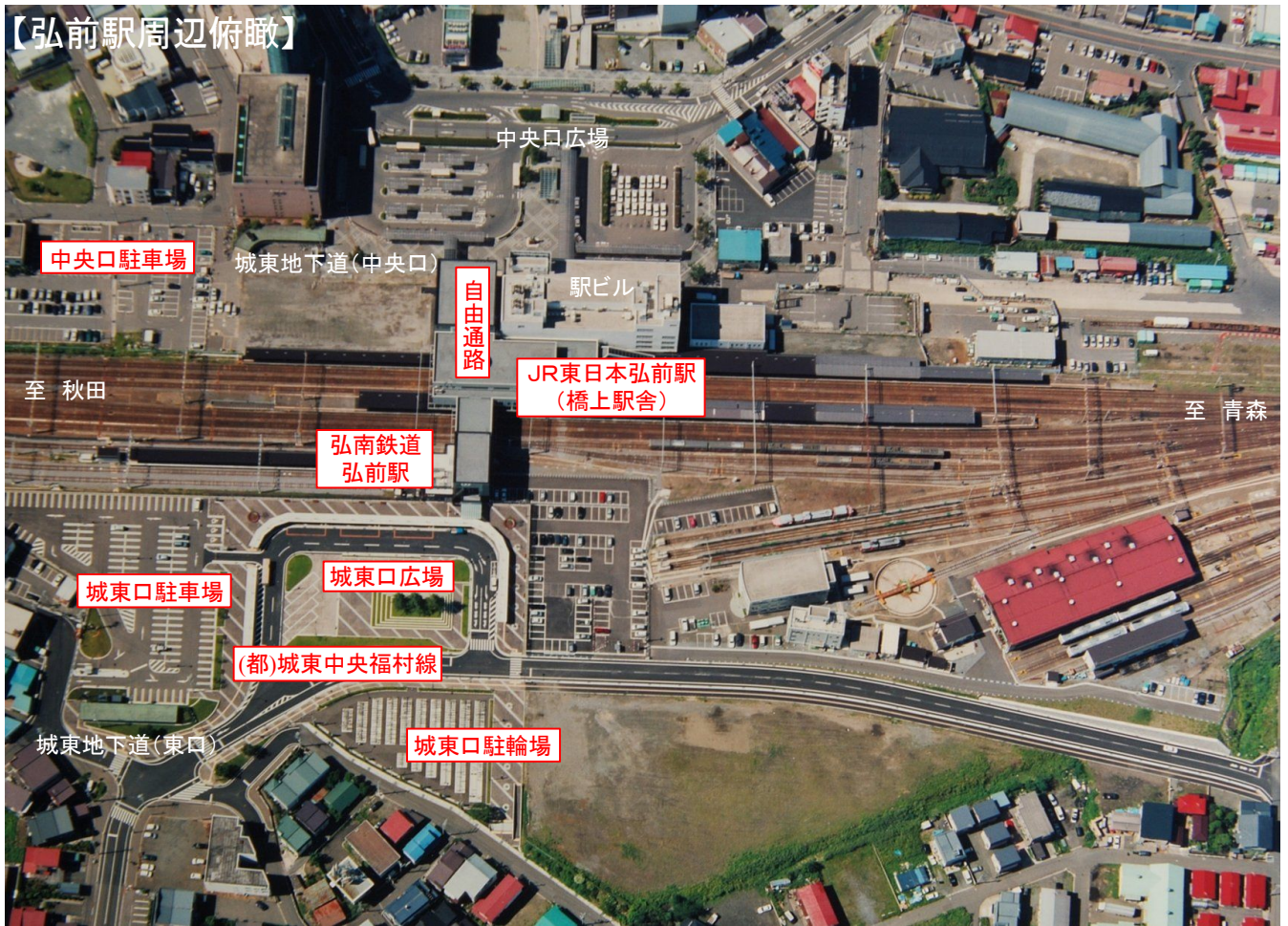
平成10年3月撮影

【城東地下道】



平成17年7月撮影

【弘前駅周辺俯瞰】



平成17年7月撮影

【弘前駅城東口広場】



平成17年4月撮影

平成17年4月撮影

【弘前駅城東口全景】



【弘前駅自由通路】

